

# 3 級昇級試験が変わります

## 2016 年度昇級試験より実施形態を変更いたします。

---

昨今のハイレベルなゲームに対応できる力を有する審判員をより多く輩出するため、2016 年度昇級試験より、従来の実施形態を変更することとなりました。

## 2 次審査制の導入

---

以下のとおり、実施形態が変更となります。

【1 次審査】 …… 基本講習、競技規則テスト、体カテスト

【2 次審査】 (1 次審査合格者) …… レフェリング講習、実技テスト

### 基本講習

審判員に必要な資質について講話。3 級受験者として、また取得後の審判員としての心構えなどについて。

### 競技規則テスト

レフェリングに必要な基礎知識を問う問題を多く出題。ルールブックをしっかりと読み込んだかどうかポイント。

### 体カテスト

インターバル走によるテスト。

「1 5 0 mラン→5 0 mウォーク」を1 セットとし、規定時間内に 20 セット繰り返す。

規定時間は 1 5 0 mランが 5 0 秒、5 0 mウォークが 6 0 秒。

### レフェリング講習

対角線審判法や判定について、審査の観点を含めて指導・確認。

### 実技テスト

指定されたゲームでのレフェリング実技。事前のレフェリング講習で動きや判定のポイントを学び実践することで、技術の定着も図る。

## 合格後のフォローアップ研修

---

合格後、さらにレフェリング技術の向上・定着を図るため、フォローアップ研修を行う。

フォローアップ研修は必須受講とし、受講者には翌年度更新登録資格を付与することとする。

なお、フォローアップ未受講者は原則、翌年度の登録を行わないものとする。

2 次審査制へ変更するため、3 級昇級のために受験者に割いていただく日数が増えてしまいます。

しかし、より良い審判員を輩出することは、鳥取県のサッカーのレベルアップにつながる大切な取り組みです。

ご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。